

IMF サーベイ

公的債務

2010 年、財政赤字は大半の国で減少するも、 2011 年は削減ペースが減速

IMF サーベイ・オンライン

2011 年 1 月 27 日



IMF によると、各国の債務・財政赤字の削減ペースは 2011 年に減速する見込み。（写真：IMF）

- 先進国の債務は拡大しているが、公的債務削減は今後数年間の必須課題
- 欧州の赤字削減計画は軌道上にあるが、2011 年他の主要国は遅れる見込み
- 新興市場国は、状況の変化に備え、歳入超過分を蓄えることが肝要

国際通貨基金（IMF）は、世界の債務及び財政赤字を分析した最新の報告書を発表した。この中で IMF は、2010 年の各国の財政パフォーマンスに関し、世界経済の回復が続いていることにより、昨年 11 月の予測よりいくぶん良好だったものの、多くの先進国の債務は依然として高水準にあり、また拡大を続けていると指摘した。

経済成長の回復に伴う歳入の増大と支出削減を反映し、昨年は多数の国で財政赤字が縮小した。1 月 27 日にワシントン DC で発表された [IMF 財政モニター・アップデート](#) の最新データによると、2010 年の先進国の財政赤字の平均は、先の予測よりやや改善され GDP 比 8% へ低下した。

しかし、先進国による財政赤字と累積債務の削減ペースは、一部の国で計画の実施を先延ばしにしたため、2011 年には平均して減速する見通しである。

1 月 25 日に南アフリカのヨハネスブルグで発表された IMF の最新の [世界経済見通し](#)（WEO）と [国際金融安定性報告書](#)（GFSR）によると、世界経済は 2011 年に 4.5% の成長を示す見込みだが、先進国での高失業率や銀行部門をめぐる課題、そして新興市場における景気過熱リスクといった重要問題に取り組むための措置が、依然として求められている。

主要先進国では、より力強い成長見通しを受け、昨年 11 月以降国債の利回りが軒並み上昇した。金融市場圧力は依然として欧州の 2~3 カ国に限られている。IMF は、公的債務の水準は総じて先進国で引き続き高い状況にあり、2010 年には GDP 比で 96% 超に達したと述べた。

同報告書を作成した IMF 財政局のカルロ・コッタレリ局長は「財政リスクは高止まりの状況が続いており、また幾つかの点については、11 月に発表した前回の財政モニター以降一段と高まっている」と述べた。「このことは、各国が中期的に実施し

なければならない財政調整計画を、より明確かつ具体的なものにすることが重要であることを示している」

国によって異なる調整のスピード

IMFによると、財政調整のペースは、先進国と新興市場国全体を通じてばらつきがみられ、各国の債務レベル、経済成長、及び金融市場圧力により異なっていた。

新興市場国の財政赤字は総じて2010年に0.75%縮小したが、これはIMFの11月の予測と合致している。しかし、複数の国では経済成長と商品価格の上昇により歳入が増大したが、同時に歳出も拡大した。新興市場国の公的債務は平均して対GDP比37%だった。

新興市場国の財政赤字は2011年、平均して対GDP比でおよそ0.75%縮小する見込みである。

一方、G20先進国に関しては、進展のペースが鈍化し、2011年の財政赤字の平均は、昨年11月のIMF予測の半分以下のペース、すなわち対GDP比0.5%減に留まる見通しである。米国と日本の財政調整が11月に予測したペースより減速したことが、赤字削減幅の縮小の主な要因となった。全ての国が、財政赤字及び債務削減の実現に向け今後実施する中期的措置の詳細を、明らかにする必要がある。

また財政モニター・アップデートは、公的債務及び財政赤字を削減するという各国の複数年計画には、政府予算・歳出入を管理する強力かつ透明な機関が不可欠だが、その進展状況は一様ではないと指摘した。

IMFは、活況を呈する新興市場国は、歳出圧力に屈することなく、トレンドを上回る成長や商品価格・資産価格の急騰といった、一時的要因に起因する歳入の超過分はすべて蓄える必要があると述べた。このような措置は、財政バッファの構築、景気変動を拡大する政策の回避、並びに景気過熱の予防に役立つと期待される。